

津川先生と高橋先生は、私のキャリア作りを助けて頂きました

2023年4月16日

太田 隆次

前回は高津高校1年生時代の先生の思い出として体育の荒木先生が高津新聞昭和25年6月22日号に書かれた「体育と健康教育」を紹介させて頂きました。

今回は転校直前まで在籍した2年生1学期の英語の津川 力先生と化学の高橋ウキ子先生について書かせて頂きます。

振り返れば、「英語と化学品ビジネス」で何とかこの年まで生計を立ててくれた我が生涯は、津川 力先生と高橋ウキ子先生のおかげです。



津川先生からは、英語文字の書き方を学ばせて頂きました。

私は今でも日本文字はいわゆる「金釘流」（かなくぎりゅう）で苦労しています。英語文字もそうでした。そんなものと思っていました。

所が、津川先生が、最初の授業で黒板にチョークで書かれた英文字のきれいさにびっくりしました。先生が書かれたばかりの advertisement という言葉の真似をしてノートに写し取れた感激は今でも忘れられません。

先生の指先のダイナミックな動きを懸命にモノ真似しているうちにその後、自分でいうのもどうかと思いますが、アメリカ留学中や会議の議事録作成など先生や欧米人からも一目置かれるようになりました。



「太田隆次 津川先生をマネル」

高橋ウキ子先生からは、「化学」が「難しい記号や公式」の羅列ではなく「応用と変化にこそ化学の本質がある」ことを面白く学べました。化学反応を私達に分らせようと黒板から文字がはみ出ることもしばしばでした。

転校先の玉野高校の化学の授業もその引き続きで「エステル」とか「香りの化学」なども難解でしたがそれなりに理解出来ました。

大学には行けなくても自分の天職は「化学」と決意していました。

付記

私は2年生2学期から岡山県玉野高校に転校しました。この高津ZOOMサロンには部外者ですが、受け入れて頂き厚く感謝しております。尚、僅かながら、40万円を部外者として寄付をさせて頂きました。



「仲よし4人組」

報告の遅れついでですが、転校の原因になった家業の はしけ運輸と修理・造船が高度成長で持ち直したので家庭に戻り、2年遅れで京都大学法学部に入学、卒業後、55歳まで日本の化学企業、65歳までアメリカの化学企業を経て自営のコンサルタントをしております。